

(4) 64歳(平成15年) ヴァリエーション・ルートへ

・中島佳範ガイドにアイスクライミングの手ほどきを受ける

SさんとAさんに阿弥陀岳南稜に誘われた。

行きたいが技術が無いので、急遽習うことにした。タイミング良く開かれた中島佳範ガイドの机上講習を受講し、続いてバイルを求めてアイスクライミングの手ほどきを受けた。

・ハケ岳ヴァリエーション・ルートを登る

岩登りと同様アイスクライミングもうまくならないが、中島ガイドと次のような、当初想定しなかったハケ岳のルートを登ることができ、達成感も味わった。

小同心クラック

石尊稜

中山尾根

赤岳主稜



中山展望台からの横岳西壁



石尊稜 中島ガイド撮影



中山尾根 中島ガイド撮影

他に、山の会のなかまと阿弥陀岳南稜を 4 度、同北稜を 2 度、杉坂勉ガイドと権現岳東稜を、遠藤晴行ガイドと天狗尾根を登った。



南稜を右に伸ばしている阿弥陀岳

終了点から権現岳、遠くに北岳、
甲斐駒ヶ岳



・中島ガイドの厳冬期 3000m の山行に参加する

厳冬期の 3000m の稜線に立ちたいと願っていたところ、中島ガイドの企画に参加できた。

北岳

穂高コブ尾根

西穂・奥穂縦走

白馬主稜

横尾尾根から槍ヶ岳

中崎尾根から槍ヶ岳



穂高コブ尾根

屈強の若手メンバーについて行けるかどうか心配した。最後のこの登りには達成感を覚えた。(穂高コブ尾根)
2葉とも中島ガイド撮影



横尾尾根から槍ヶ岳へ

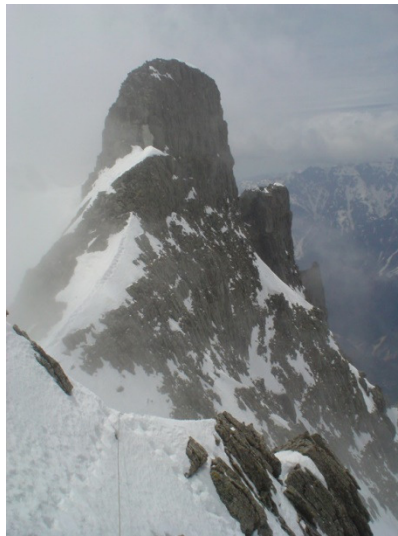
横尾尾根の難場を過ぎてから私が遅れ、稜線に露営し、また翌日は槍ヶ岳登頂を断念し、大喰岳西尾根を降りることになり、同行者に迷惑をかけた。



大喰岳からの槍ヶ岳



池山吊り尾根から北岳へ



西穂高岳から奥穂高
岳へ
ジャンダルムは今回
は懸垂で降りた。
(中島ガイド撮影)

白馬主稜を日帰りで



中崎尾根から槍ヶ岳往復。今度は登れた。



・Sさんと積雪期に歩く

積雪期の日本アルプスの稜線を次のようにSさんとも歩いた。

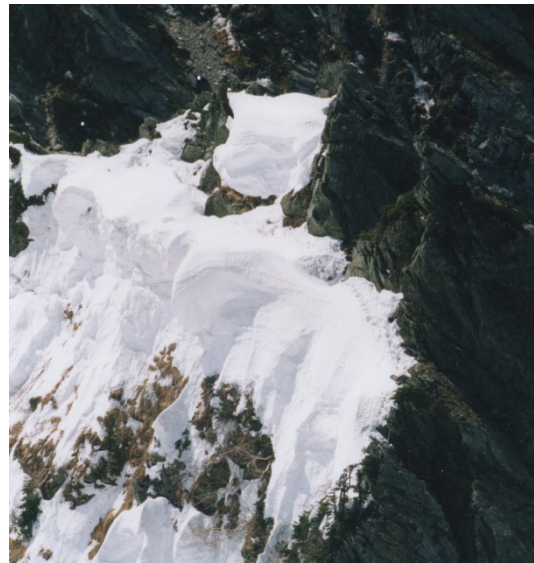
塩見岳

不帰嶮

涸沢岳西尾根・奥穂岳

天狗のコル・西穂岳

私はコンテができないので、必要なところではスノーバー、デッドマン等を利用してスタカット（隔時登攀、釣瓶）で確保し合った。しかしスタカットでは行動が遅れ、後二者は時間切れで敗退している。



不帰嶮の降りは苦勞した。登り返して振り返ると危ないところを歩いていた。いずれもSさん撮影

・ヴァリエーション・ルート登攀は海外の氷河登行に活かされている

Sさんが山行から遠のいたこと、また中島ガイドの山行で私の歩きが遅れるようになり参加を控えたことから、残念ながら現在ヴァリエーション・ルートを登ってない。乏しい経験であるが、これは海外の氷河登行で活かされた。



[\(目次に戻る\)](#)

[\(次項に進む\)](#)